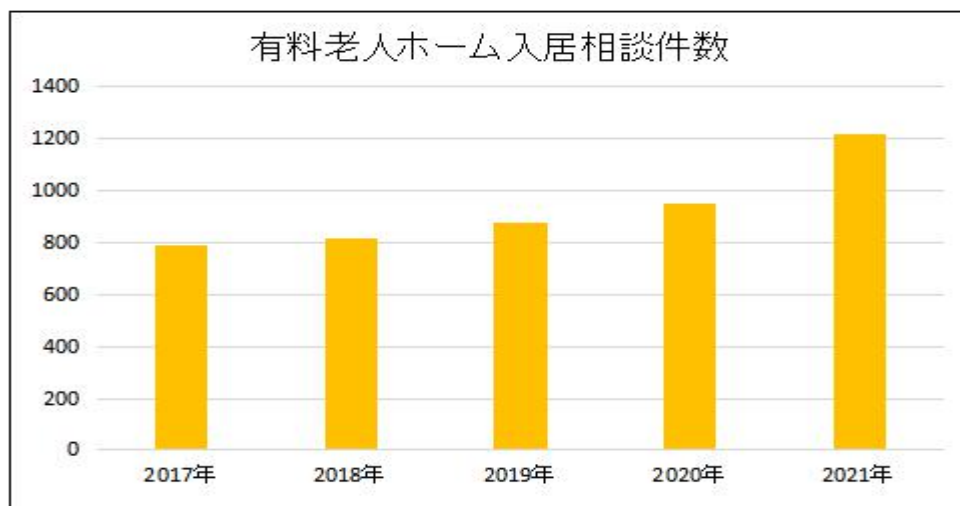


コロナ禍でも入居相談が急増

アスモ調べ「有料老人ホーム入居相談の実態調査報告」

介護総合サービスの株式会社アスモ（東京都中野区、代表取締役社長 花堂浩一）は社内シンクタンク「アスモ介護総合研究所」（所長：花堂浩一）によりグループ会社である株式会社アスモリンクが運営する有料老人ホーム紹介事業における実態調査を行いました。

本調査は入居する家族からの相談実績（約 1,215 組）をもとにコロナ禍における 2020 年 1 月から 2021 年 12 月の期間内において相談を受けた内容を基に調査結果として纏め報告いたします。



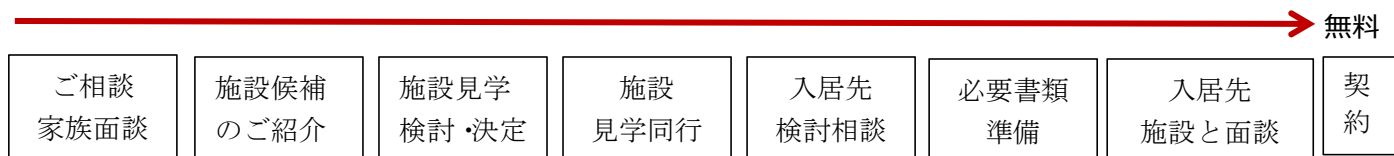
家族からの相談

2017年 789件
2018年 815件
2019年 875件
2020年 951件
2021年 1,215件

2021年度は前年比約 28%増と
コロナ禍でも伸び率が大きい

2021年の増加要因は在宅によるテレワークが進み、家族とのコミュニケーションが増えたことや SNS 等メディア情報の影響により、両親の将来に対する対応の一つとして有料老人ホーム等への入居が加速的に進んでいるようです。本調査は、専門家であるケアマネージャーや施設相談員に対し、初めて相談をした家族（1,215 組）が対象となります。

本調査は有料老人ホームへ両親の入居を希望する家族の相談内容を纏め、対象となる家族の皆様へ有料老人ホーム選びの一助になれば幸いです。



【調査項目】

- ①ご両親の施設選びで相談対応した家族年齢
- ②有料老人ホーム入居を検討したきっかけ
- ③有料老人ホーム施設への要望
- ④有料老人ホーム入居大分類
- ⑤有料老人ホームへ入居する予算

2008年より有料老人ホーム紹介事業をスタートし、家族からの相談件数は年々増加傾向にあります。

コロナ禍における経済が低迷する現在において家族からの入居相談件数や相談内容について調査を行いました。

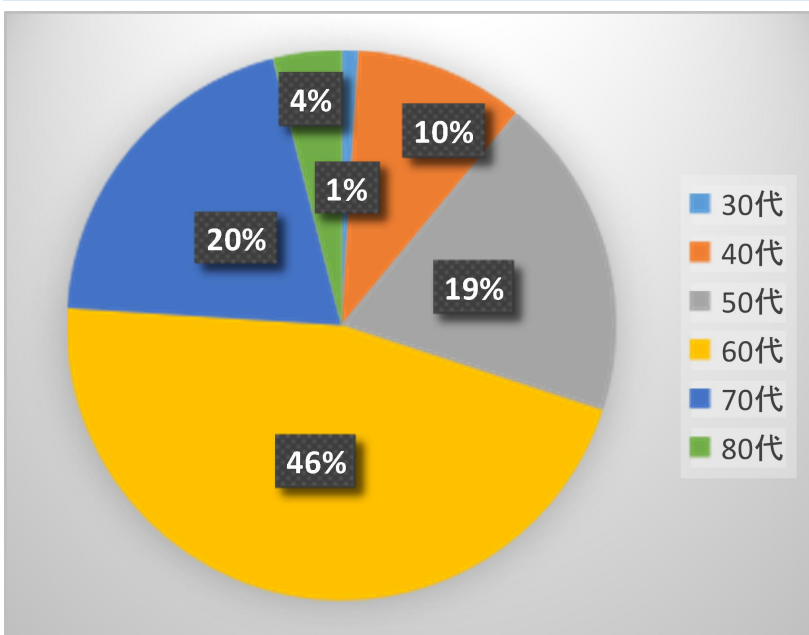
表①にあります「ご両親の施設選びで相談対応した家族年齢」は50代～70代が85%を占め、その中でも昨今50～60代が増加傾向にあり、介護離職を意識された年代層から早めの相談がうかがわれます。

その要因として介護をしながら働き、勤務先に相談できず悩まれている方も見受けられました。このような現状を企業が把握できず突然の介護離職者が増えることへ、企業側の対策として仕事と介護の両立といった働き方改革が求められています。

また、表②では親との世帯分離からなる老老介護による限界14%、また独居生活の限界20%など

今の時代を反映している結果であると言えます。

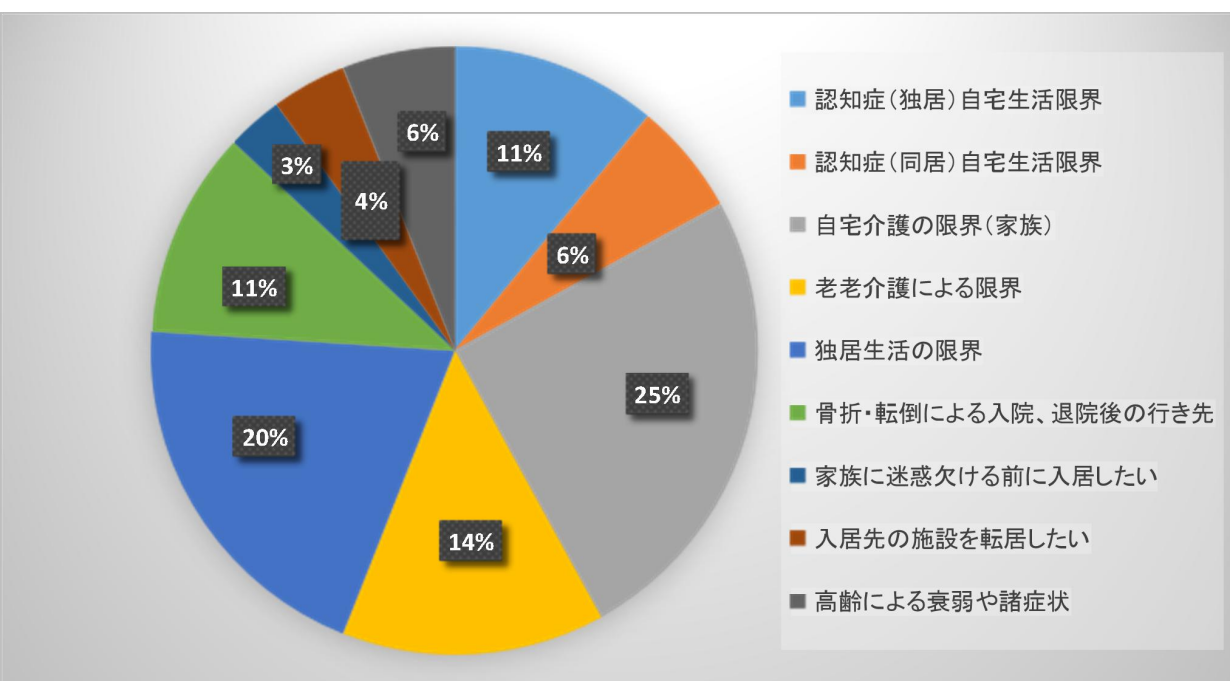
表①ご両親の施設選びで相談対応した家族年齢



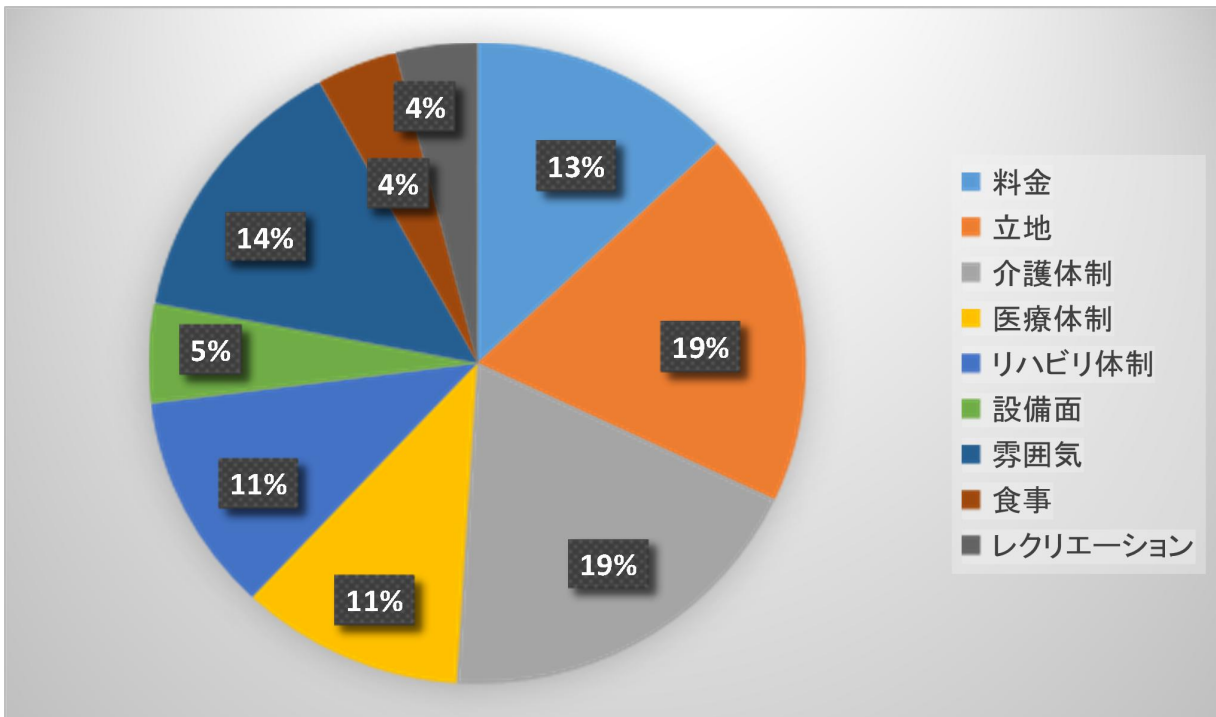
表①を見ると50代、60代の声からは両親の今後について家族内で考える時間が増えたとの回答が多い。

また50代、60代にも言えることが40代においても徐々に増えてきており、介護に対する認識が高く情報収集を充分されている傾向にあるものの、実際に両親の要介護状況は把握されておらず、施設内容や立地、そして費用面といった情報に留まっているのが現状です。

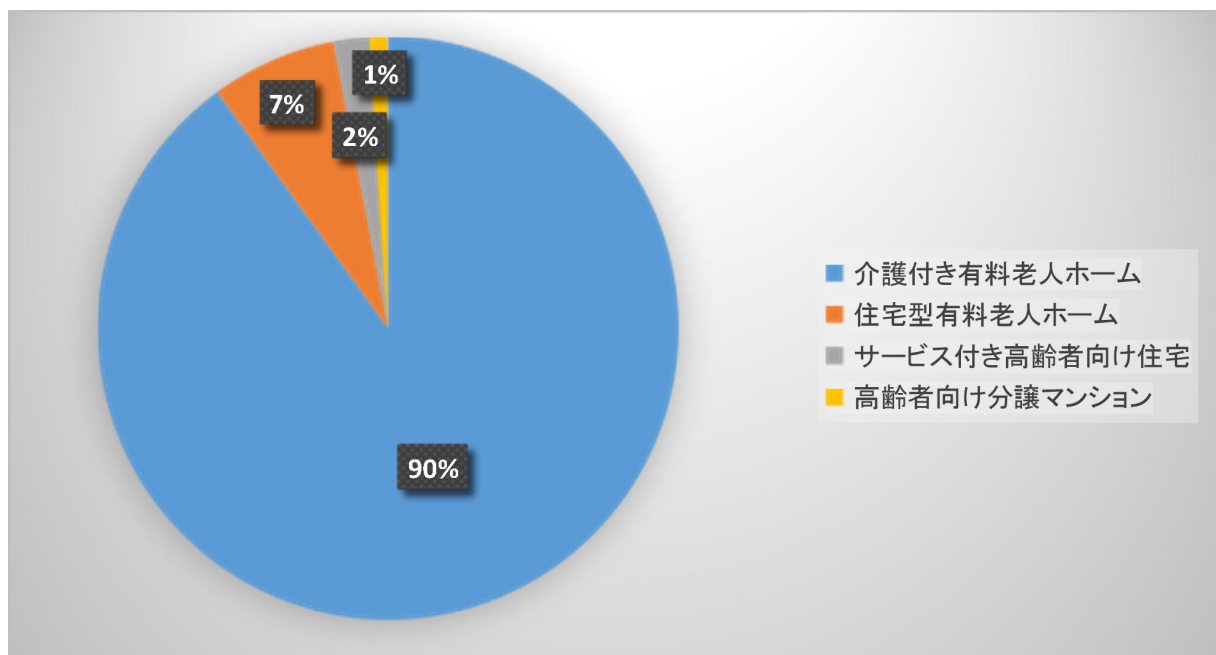
表②有料老人ホーム入居を検討したきっかけ



表③有料老人ホーム施設への要望



表④有料老人ホーム入居大分類



表③④では入居する親の要介護状態を基本とした施設選びについてとなります。まずは介護体制そして家族の自宅から通える1時間以内の地域ニーズが高く、まずは候補施設のリストアップをし見学同行。表⑤にあるように入居者そして家族による予算感で最終的な施設選択をされています。入居金は入居者が住む不動産売却や手持ち資金などであり、毎月の費用は入居者の公的年金などが充てられているようです。

表⑤有料老人ホームへ入居する予算

入居金型 (※介護保険負担額1割)	入居金:1500万~3000万 月額:35万~40万	入居金:1000万~1500万 月額:28万~33万	入居金:800万~1000万 月額:25万~30万	入居金:500万~800万 月額:20万~25万	入居金:300万~500万 月額:20万~25万	入居金:30万~300万 月額:15万~20万
月払い型 (※介護保険負担額1割)	入居金:0 月額:45万~55万	入居金:0 月額:40万~50万	入居金:0 月額:35万~45万	入居金:0 月額:30万~40万	入居金:0 月額:25万~35万	入居金:0 月額:20万~25万
割合	13%	8%	30%	13%	18%	18%

【調査概要】

▶調査対象：有料老人ホームに入居する方の家族 ▶調査期間：2020年1月~2021年12月

▶調査方法：家族と面談によるヒアリング（回答家族数：1,215組）

▶調査発表日：2022年4月

*本リリースによる調査結果をご利用いただく際は「アスモ調べ」と記載いただきご利用ください。

株式会社アスモとは

私たちアスモの歴史は2000年より開始いたしました介護保険制度とともにあり、創業して21年が経過しました。訪問介護事業を皮切りに居宅介護支援（ケアプラン作成）や福祉用具などの介護保険事業に携わりながら、その軸足を介護保険外事業に移してきました。2008年には有料老人ホーム紹介のポータルサイト「シニアハウスコム」を事業譲渡で譲り受け、同時に対面相談型での有料老人ホーム紹介事業を開始しました。また2019年には介護人材養成事業、介護施設向けの建物設備関連事業を開始し、2020年には食料危機に備えアスモファーム（農業）にも進出いたしました。

アスモグループ概要

社名：株式会社アスモ 設立：2000年5月 <http://www.asumo-kaigo.jp/>

代表取締役社長 花堂浩一

本社：東京都中野区新井 1-26-4 TEL：03-5318-4007

分室：東京都中野区新井 2-7-13（アスモカレッジ併設）TEL：03-5318-0309

事業内容：訪問介護、居宅事業、福祉用具事業、介護職員初任者研修事業、有料老人ホーム紹介事業

【グループ会社】

株式会社アスモリンク <https://asumo-seniorhouse.com/> 有料老人ホーム紹介事業

株式会社アスモテクノサービス <https://www.asumotechno-1.com/>

アスモ介護総合研究所 <https://www.asumo-sk.com/>

社員数：70名（介護ヘルパー含む）

【認可登録番号】居宅介護支援番号：1371404508 福祉用具番号：1371404508

<本件に関するお問合せ先>

アスモ介護総合研究所：小川 mail：ogawa@asumo-kaigo.jp

株式会社アスモリンク 東京都中野区新井 1-26-4 TEL：03-5318-4017

<https://asumo-seniorhouse.com/>
